

便利なのはいいんだが

土橋 政伸

私が佐伯にマイホームを建てて5年。家を建てた当初は近くにスーパーがあり、なんて便利なところに家を建てたんだらうと、妻と喜んでいたが、そのうちに私のほうがマイホーム建築や子育てでのご無沙汰していた星見の虫がむずむずと動き出しました。

すると大変な事態に気づいたのです。それは星見には大敵の光害です。それもかなりの光量です。それでも真夜中になれば店も終わりネオンも切ってしまうので、夜中は暗くなる。ある時そのスーパーが店を閉めてしまった。お店が無くなるのは不便だが照明が無くなるのは大変嬉しいことだと思っていたのもつかの間で、ほどなくローソンが出来てしまった。

このローソンの明かりときたら半端ではない。高さが5メートルぐらいの所にあの大きな明るいローソンの看板が我が家から30メートルぐらいのところに出来たからたまったものじゃあない。寝室の遮光カーテンをしても部屋の中は豆電球は要らないぐらいである。

そんなところで望遠鏡など出せるはずもなく、星見の時は車で重い機材を回りが暗いところまで運んで行っていたんだが、そのうちに我が家とネオンの間に家やアパートが出来、我が家でもまあ何とか星見が出来ないことはないなあ、というぐらいまでにはなってきた。

しかし、やはり空の明るさはどうしようもなく明るい。木星や月などはあまり気にならないが星雲や星団を見るときはシュミカセを暗い空の所まで運んで設置するには50歳を過ぎた体にはちと辛い。

[妻との戦い]

ここはひとつアトラクス赤道儀は設置式にしよう、と妻に提案。すると即座に却下。そんな物をいつも庭の中に置かれたら邪魔でしょうがない！ 見たいときだけ出せばいいでしょ、と言う。じゃあ家の横のところにしようか？ とまた提案。すると、そこは花火大会見る所だから駄目と言う(我が家では毎年そこで花火大会見物をしている)。じゃあ赤道儀どこに置こうか？ と言うと、車でどっかに行けばいいじゃんと言う。いや、それは無理だから取り合えず庭の隅っこに置くだけ置いとくと言って、庭の隅にピラーと赤道儀を置いて、とりあえずここは俺の陣地と言う主張だけはしている。

そうやって主張をしてそろそろ一年以上経つが、最近になって妻が庭に物干し用のテラスを作ってくれたら花火を見るところに望遠鏡を置いてもいいよ、と言い出した。

しかし花火を見るところはローソンの看板が直接見えるところにある。そんな所にはやはり観測所は作れない。ここはやはり庭しかないなと妻が諦めるまで長期戦を決め込んでアトラクスは今も庭で自己主張してもらっています。(しかし、いくら毛布やビニールで風雨対策をしていても長期の野外は電気系統が心配です)



左の写真が収納時、右の写真が使用セット中

[赤道儀かポータブルか]

唯一の赤道儀を設置式にしたら気楽に持って動ける赤道儀が欲しくなるのは当然で、ここで、星野写真を主体に撮るか望遠鏡も乗せられる赤道儀が良いか？ポータブルは軽くて機動性もあるが惑星や星雲を見るのには向いていない。赤道儀ならすべて出来るが重くて荷物がかさばる。事務局の山本さんにも相談しながらいろいろ迷っている時に某有名ショップの入札販売でビクセンの GP-D2 赤道儀が出ていた。

ここは後々の事を考えたらこれがやはり一番いいかなと購入を決めました。少々三脚がでか過ぎるかなと思うがそこは、これぐらいないと強度的に耐えられないと割り切っています。

私はこの赤道儀を主にトラックに積んで仕事で行く先々で使おうと思っているのですが、世の中、なかなか旨くないもので、なかなか良い天気めぐり合いません。先日も仕事で長野県の白馬村に二度ほど行くことがありましたが、二回とも天気は曇りでガッカリ。

また、良い天気であっても睡眠時間を優先しなければならないときが多く、こんなときはポータブルが良かったかなあと思うが、またお金を貯めていつか買いたまおうと自分に思い聞かせています。

最後に今ある機材でぼちぼち気楽に星見をしたり、写真を撮ったり下手は下手なりにそこそこ努力をしながらやって行こうと思いますので、これからも皆様よろしく願います。